

## インドネシアからの訪日者数

ここ数年、日本は世界各国からの観光客誘致のために積極的なプロモーションを実施しております。日本政府は地域社会の活性化と雇用機会拡大のために訪日外国人旅行者の誘致を強化し世界の観光需要を取り込むことが重要としており（「新成長戦略」〈平成22年6月18日策定〉）、インドネシアから日本への観光目的旅行者に対しビザ取得免除を2014年12月から実施しています。ビザ取得免除を受けるには、事前にインドネシアにある日本の在外公館での免除手続きが必要になりますが、観光目的（滞在期間：最大15日間）であれば以前に比べ手続きが容易になったこともあり、インドネシア人の訪日者数も年々延びてきています。

## 【訪日者数】

出身国	2012年	2013年	2014年	2015年
インドネシア	101,460人	136,797人	158,739人	205,083人

## 【インドネシア人訪日者の目的】

	2012年	2013年	2014年	2015年
観光	68,211人	101,726人	120,535人	164,040人
商用	17,445人	18,323人	19,017人	18,574人
その他	15,804人	16,748人	19,187人	22,469人

出典：日本政府観光局（JNTO）

観光目的以外のカテゴリーも数字が伸びています。これはグローバル化が進み、日本とインドネシアとの商取引が増えビジネス的にも関係性が強まっていることが読み取れます。

一方インドネシア人旅行者が海外旅行に選ぶ国を見てみると、渡航者数が多いのは近隣のシンガポールとマレーシアのようです。インドネシア人の場合、シンガポール、マレーシアを「海外」と認識しているかという正直微妙ですが、LCCが就航しているなど比較的気軽に行けるとするのが一番の要因だと思います。続くランキング上位に名前があるのが中国です。インドネシアでは中華系インドネシア人が多いことも要因とされます。中国に続くのがタイ、サウジアラビア、オーストラリアとなっており、サウジアラビアについてはイスラム教の巡礼に訪れる人の数字が反映されており、今後日本が旅行者誘致として意識すべき強豪国はタイ、オーストラリアと言えるかもしれません。日本への観光旅行で最も期待されているのは桜や富士山などの自然景観や寿司などの日本食のようですが、観光客をより増やすには、さらなる魅力あるコンテンツ、ハラルへの理解など様々な対応が必要となり、まだまだ時間がかかりそうな気がします。

続いて旅行目的以外のインドネシア人が、どのような在留資格を取得しているかですが、現在、日本で滞在が認められている在留資格項目数は27種類あり、この中には在留期間が無期限となる永住者資格も含まれています。各在留資格項目27種類の中で比較的數字が大きいものについて注目してみたいと思います。

## 【インドネシア人の取得在留資格者数（主なもの）】

	2012 年	2013 年	2014 年	2015 年
永住者	4,743 人	5,123 人	5,351 人	5,641 人
留学	2,917 人	3,219 人	3,797 人	4,768 人
技能実習	9,098 人	10,064 人	12,222 人	15,307 人
技術・人文知識・国際業務	989 人	974 人	1,076 人	1,333 人

出典：法務省

在留外国人が増えている中で、上記 4 項目の在留資格者数は全て伸びているのがわかります。留学ビザは、近年、日本の大学・短期大学・専門学校などが学生誘致のためにアセアン等近隣諸国への積極的なプロモーションを行っていることもあり、インドネシアのみならず、他のアセアン諸国についても在留資格者数が毎年伸びている状況となっています。また最近メディア等によく耳にする「外国人技能実習制度」を活用した技能実習ビザでの入国者数も全体的に増加しています。外国人技能実習制度とは日本の優れた技術・技能・知識を開発途上国等へ移転し、開発途上国等の経済発展を担う「人づくり」に協力することを目的としたもので、現行制度では日本政府が定めた 74 職種 133 作業で、最長 3 年間の技能実習が認められているものです。2015 年 12 月末の時点で、技能実習生の在留資格者数は日本全国で約 19 万人となり、その内の 46.2%が中国、29.9%がベトナム、9.2%がフィリピン、7.9%がインドネシアという統計が発表されています。

岡山県に特化してみると、2015 年 12 月末の時点での在留外国人数は 22,439 人となっており、内アジア地域からが約 91%を占めています。国籍別にみると、中国が 8,263 人、韓国が 5,115 人、ベトナムが 2,939 人、フィリピンが 1,682 人、ブラジルが 843 人となっておりインドネシアは 671 人で、第 6 位（全体の 3%）となっています。サポートデスクでは、インドネシアへの渡航や技能実習生の受入れなどの相談も可能ですのでお気軽にご相談ください。

以上

## ★岡山県インドネシアビジネスサポートデスク（PT. JC内）概要★

所在地：Rukan Tanjung Mas Raya Blok B-1 No. 38

Jl. Raya Lenteng Agung, Tanjung Barat, Jagakarsa,  
Jakarta Selatan 12530 INDONESIA

デスク担当者：PT. JC 武井 和宏（たけい かずひろ）

対象エリア：インドネシア全域

※「岡山県インドネシアビジネスサポートデスク」では、岡山県内に事業所を有する企業や経済団体等のインドネシアでの事業展開を支援しています（岡山県から[公益社団法人 日本インドネシア経済協力事業協会](#)に業務を委託）。ご利用に当たっては、「[岡山県インドネシアビジネスサポートデスク](#)」利用の手引きをご覧のうえ、[岡山県産業企画課マーケティング推進室](#)（電話 086-226-7365）までご相談ください。

※本レポートは岡山県内企業のインドネシアでの事業展開の一助とするため作成されたものであり、サポート対象に該当しない個別のお問い合わせには対応しておりません。